

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第3ぼっぽハウス			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ~ 2024年 11月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日 ~ 2024年 10月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学齢にあつた支援を行っていること 当法人では小学年から高校生まで長期間支援を行っています。同じ法人内ですが、学年が上がることで別の事業所に移動し、3つの事業所を利用できます。	同じ活動でも、活動の難易度や内容をその学齢に合ったものを行っています。 学年が上がり事業所を移動することで、支援場所と支援職員が変わるのでたくさんの経験をすることができます。また個別支援計画や支援方法などをしっかり事業所間で引継ぎ、本人が戸惑うことがないよう統一した支援の工夫しています。	各事業所ごとにさらに明確な特色をもてるよう取り組んでいます。中学部・高等部の利用児が多いので卒後を見据えた基礎体力や身辺自立の向上に向けて取り組んでいます。
2	中等部・高等部の利用児が多く、目標設定が「将来の進路」について考えた支援を行っている。	今年度より高等部を対象に職場見学の実施、保護者との面談など様々な場面で進路について検討を一緒に行っています。また、卒後を見据えて挨拶や相手に自分の気持ちを伝えることの大切さを活動を通し取り組んでいます。	茶話会等を通じ「将来の進路」について保護者同士が話せる場をつくっています。また、法人には生活介護の事業所もあるので、その情報などわかる範囲でお伝えしていきます。
3	建物は、放課後等デイサービスを行うために建てられているので、2階へ行くための階段はありますがその他はバリアフリーで活動しやすいです。清潔で心地よく過ごせる環境です。	気持ちの切り替えや休憩ができるスペースもあり、まわりを気にせず静かに安心して見守ることができます。	利用児ひとりひとりのその日の状態を把握し、個々に合った環境を提供していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流があまりありません。	茶話会など定期的に行っていますが、就労している保護者が多く学校行事等が優先されるためか、参加者が少ないです。開催時間や内容など工夫はしていますが改善できていません。	保護者同士の交流会の設定を考えています。また、家族等の参加できる研修や行事の機会や情報提供を行っていきます。
2	児童館との交流や地域の他の子どもたちと活動する機会があまりありません。	交流する機会を求める方と求めない方とわかれますので、下校時間などを考えると難しい状況です。	長期休みのときに交流する機会が設定できればと思います。
3			